



▲公平で使いやすい利用料の改定が求められる

駐車場使用料の見直しを

答弁＝統一料金には疑問を持つ

受益者負担は厳しい財政状況の下、歳入の確保が強調されていますが、施設利用で利益を受ける人がい

答弁＝高橋理事

健康いきいきセンター、野添であい公園、大中遺跡公園などに附属する駐車場は有料となっており、条例では一回あたりの使用料は100～200円で統一性がなく、短時間・長時間利用に関して公平性に欠けている。
明石市では、民間委託することによって365日・24時間の営業を可能にし、住民サービスの向上を図っている。さらに安定した収入も確保している。施設の運営に関して収支の健全化を目指すうえでも民間活力を導入できないか。



緑生会

福原 隆泰

ば、その利益に見合うだけの負担をお願いすることが、住民間の不公平をなくし、その歳入をもって住民サービスの向上を図ることも可能と考える。

公園附属の駐車場有料化は、公園利用者以外の車両が安易に駐車場に代用し無秩序な利用を制限するための措置として導入している。単純にすべての料金を統一することが公平かという点では疑問もあると思っている。なお、大中遺跡公園の駐車場は、今後指定管理者制度を利用し民間活力の導入を検討する。また土山駅南に計画している複合交流センターの駐車場は「有料」と考えている。

町の機構編制は

県立考古博物館のオープ

答弁＝清水町長
組織には一長一短がある
言うまでもなく、どのような組織にあっても一長一短はあるが、自治体としての必要不可欠な業務を遂行しながら、費用対効果を勘案し、多様な住民ニーズに応え、住民から見分りやすい組織を今後も目指したいと考える。



▲有効活用が期待される(旧)播磨北小

(旧)北小の跡地利用は

答弁＝障がい者福祉の拠点に



日本共産党代表

中西美保子

現在の「いなみ野特別支援学校」の小・中・高校生が定員を超えている。兵庫県教育委員会から(旧)北小の跡地を「特別支援学校」に利用させて欲しいと申し入れされている。県も地域に開かれた学校としての方向性を出しており、地域住民にとっても有利な活用方法ではないか。
今年度より、義務教育の中で小・中学校の発達障がいの子どもにコーディネーターなどが支援しています。「特別支援学校」に指導を持っており、学習障がいな注意欠陥・多動性障がいな

答弁＝清水町長・松田教育長

「特別支援学校」は特別支援教育のセンター的役割を持っており、学習障がいな注意欠陥・多動性障がいな

どを含め児童、生徒のニーズに応じた適切な教育的支援、相談が受けられる。教育やNPOなど福祉の関係機関と連携した拠点となる。当該施設は市街化調整区域内であり、町が施設を新たに建築することは容易ではない。また、有償となる。と国に補助金の返還が必要になる。運営協議会で協議している活動拠点、住民交流の場の確保を県に要求し、交渉している。

学童保育施設の充実を

子どもの安全な環境を整えるためにも学童保育所は重要です。しかし、保育料を含め月額1万円必要で大変です。学童保育所の公設運営で所得に応じた軽減措置を。
また、定員オーバーの学童施設の建設を。

答弁＝柘田理事
学童協議会と協議する

保育料の減額措置は、生活保護法による被保護世帯及び単身家庭で住民税非課税世帯の1年生から3年生に在学する児童に対し、児童一人につき月額5千円を助成している。
今後の学童施設の建設は入所希望児童数の推移を考慮しながら検討したい。
指導員の就労環境の整備や、学童保育事業の運営などは協議会と協議していく。

下水道料金の見直しは

下水道料金の引き上げの説明があったが、住民の生活は苦しくなっている時こそ引き下げを。

答弁＝高橋理事
負担の軽減に努める

下水道使用料の改定はある程度普及促進が図られた時期に検討する。今後も、行政改革に努め、負担増の軽減に努めていく。